

あいさつ運動からつながる小中連携

ねがい

〈目的〉

綾南中学校区の児童・生徒は、素朴で素直、物事にまじめに取り組めます。しかし、人間関係をつくるのが苦手な児童・生徒が多く見られます。そこで、人とのつながりをつくっていく第一歩として気持ちよい「あいさつ」を重視した取り組みを行うことにしました。

〈内容〉

つながり

● あいさつ運動の充実

気持ちよいあいさつが行き交い、気持ちよく1日のスタートが切れるよう小学校では児童会や委員会が、中学校では生徒会や部活動、ボランティア生徒が中心となり、あいさつ運動を実施しました。2学期には「さめきっ子あいさつ運動」とタイアップをして実施しました。中学校では多くのボランティアの生徒が参加しました。



【小学校でのあいさつ運動の様子】

● あいさつ運動週間の実施（予定）

各校でそれぞれあいさつ運動を行っています。今年度は小中学校で実施期間をそろえ、校区の保護者、地域とも連携し、「あいさつ強調週間」を設定しています。中学生の代表がそれぞれの出身小学校へ行き、小学生とともにあいさつ運動を行う予定です。小学生のがんばりを中学生が見て自分たちももっと頑張ろうと思ったり、小学生の取り組みを中学生が称賛したりすることで、あいさつ運動のいっそうの活性化が期待されています。また、児童・生徒だけでなく、綾川町一貫性教育研究会の健全育成部会を中心にした教員による見直しや今後の方向性の検討、綾川町PTA連絡協議会からの保護者への呼びかけなど、教員や保護者を巻き込んでの小中連携も進めています。



【中学校でのあいさつ運動の様子】

〈成果〉

高まり

こうした取り組みをすることで、学校内だけでなく、地域でもあいさつをする児童・生徒の姿を多く見かけるようになりました。また、朝一番に、さわやかなあいさつをする、されることで気持ちのよい1日のスタートが切れるようになりました。今後もこの取り組みを続け、気持ちのよいあいさつから、よりよい人間関係を築く力を高めていきたいと考えています。また、あいさつの輪が、その他の活動にもつながっていくような小中連携を進めていきたいと考えています。